

Leader



2022年3月期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2022年5月13日

<https://www.leader.co.jp/>

Leader

2022年3月期 決算概要



<https://www.leader.co.jp/>

業績：売上高 対通期計画比95.9%

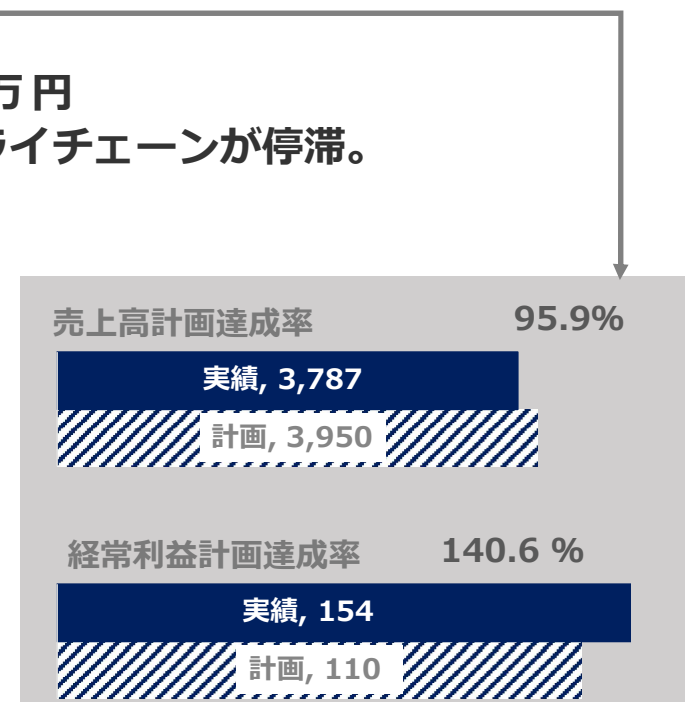
- 売上高：3,787百万円（前期比+14%）、経常利益 154百万円
海外市場は販売・受注好調。半導体など一部の部品調達においてサプライチェーンが停滞。原材料ひっ迫の影響で一部製品に期ズレが発生。
結果として、売上高は計画を下回る。

中国	設備投資意欲は、コロナ禍以前上回る勢い。4Kを中心に8Kも加わり放送関連市場全体が拡大。
北米	設備投資意欲は、コロナ禍以前上回る勢い。IP化が加速。
欧州	設備投資意欲は、コロナ禍以前上回る勢い。IP化が加速。
日本	設備投資意欲は想定以上に低調。

- 財務：自己資本比率 81.8%と盤石の財務基盤維持

■ 2023年3月期業績見通しについて

- 4K、8K、5Gへの市場拡大のトレンドは変わらず。
- 日本国内市場以外はIP化の勢いが加速。コロナ前を超える投資意欲の高まりがみられ、遅れを取ることがないよう積極的な投資を実施。
- 原材料のひっ迫は今期中も続くことを前提にサプライチェーンの強化を実施。



2022年3月期 連結PLサマリー 前期比

海外における4K映像フォーマット対応機器、IP対応関連機器等が好調。
前期比14.4%の増収。

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	構成比	2022年3月期 実績	構成比 %	前年同期比 %
売上高	3,310	100%	3,787	100%	+14.4%
売上総利益	2,103	63.5%	2,494	65.9%	+18.6%
営業利益	3	0.1%	70	1.9%	-
経常利益	81	2.4%	154	4.1%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	136	4.1%	116	3.1%	-

為替差益：+56

為替差益
助成金収入等

退職給付制度
終了益
法人税等還付
税額等

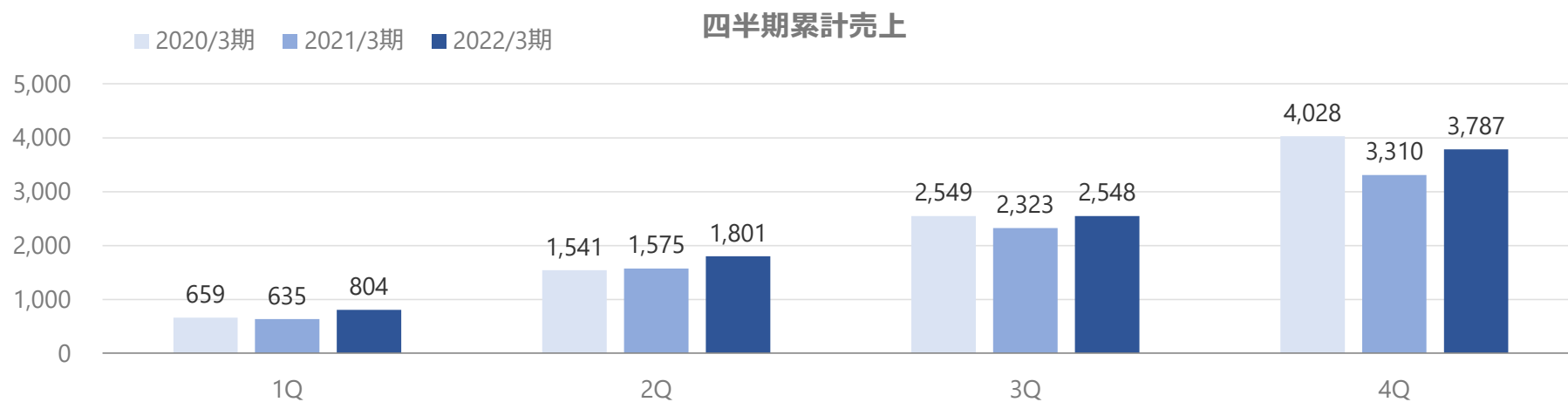
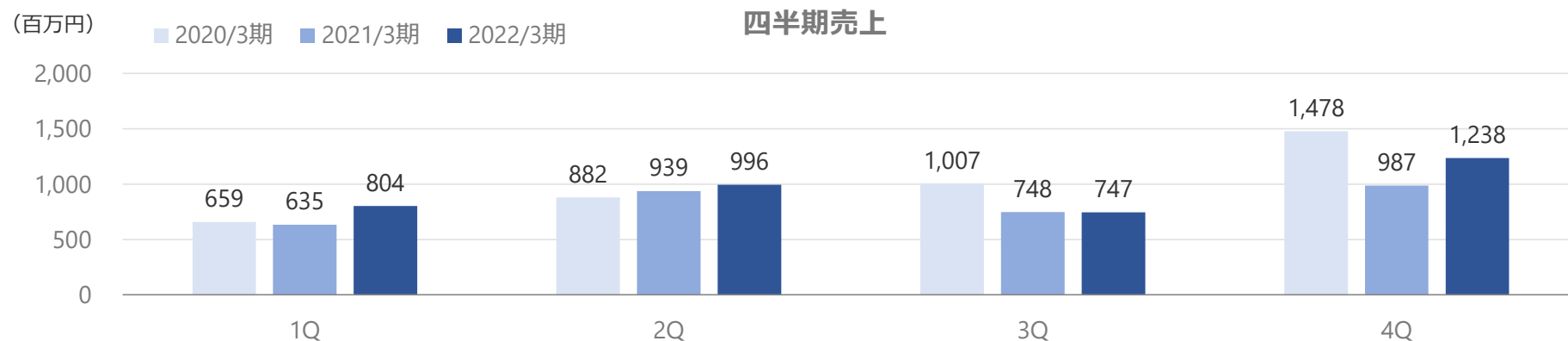
2022年3月期 連結PLサマリー 計画比

一方、サプライチェーンの混乱による調達コストの上昇、納品の期ズレ等もあったことにより、売上、営業利益とも計画を下回る。為替差益が発生した為、経常利益は計画を大幅に上回る増益。

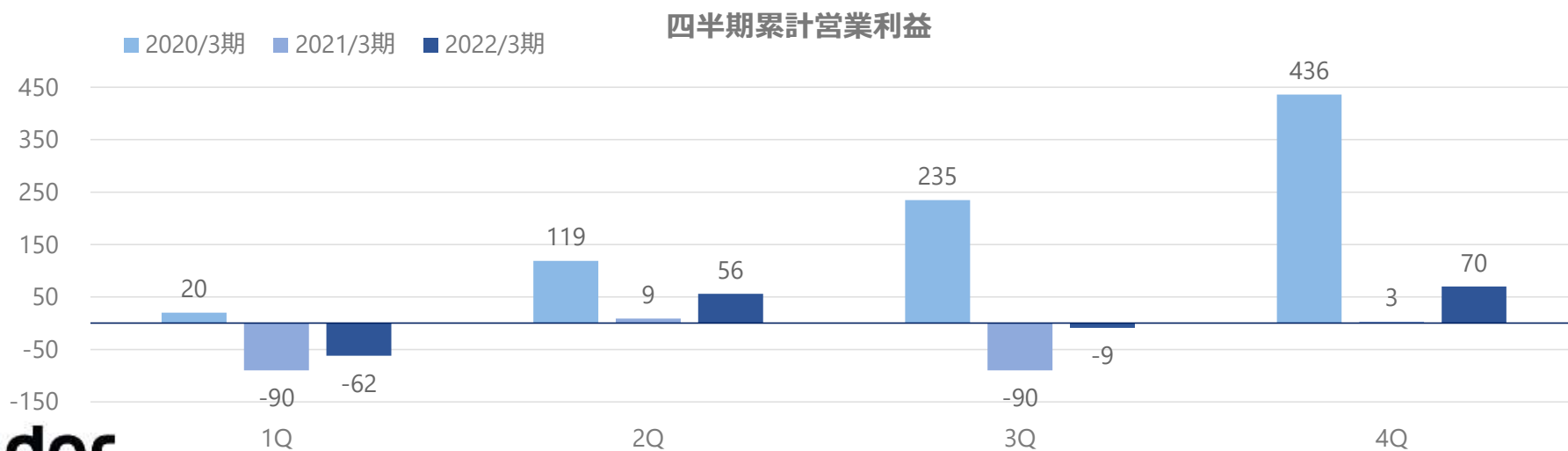
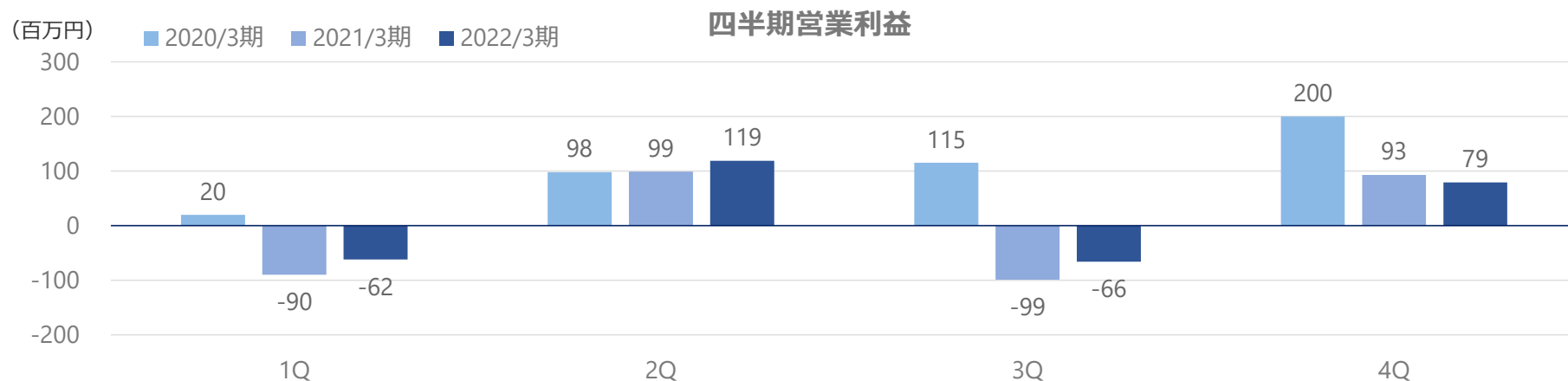
(単位：百万円)	2022年3月期 期初計画	構成比	2022年3月期 実績	構成比 %	計画比 %
売上高	3,950	100%	3,787	100%	△4.1%
営業利益	100	2.5%	70	1.9%	△29.9%
経常利益	110	2.8%	154	4.1%	+40.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	140	3.5%	116	3.1%	△16.9%

退職給付制度
終了益
法人税等還付
税額等

四半期業績推移（売上高）

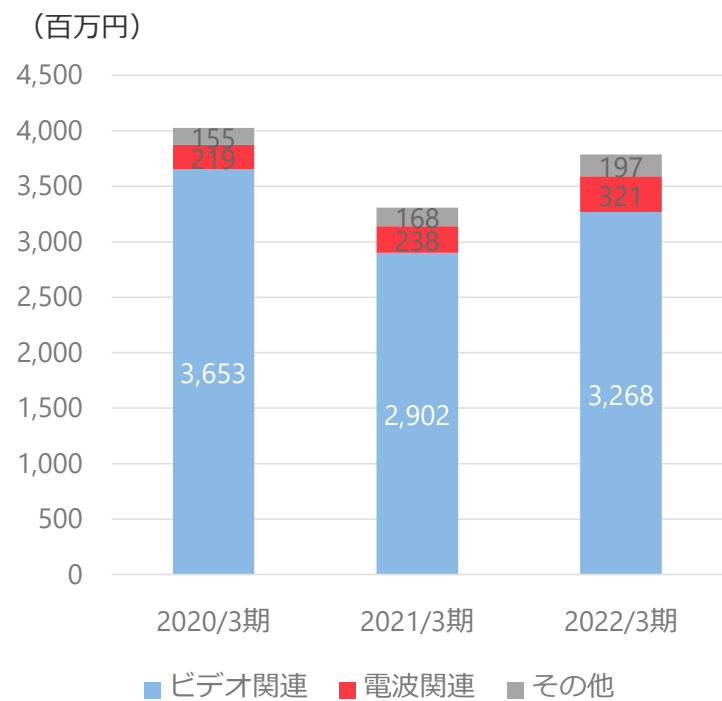


四半期業績推移（営業利益）

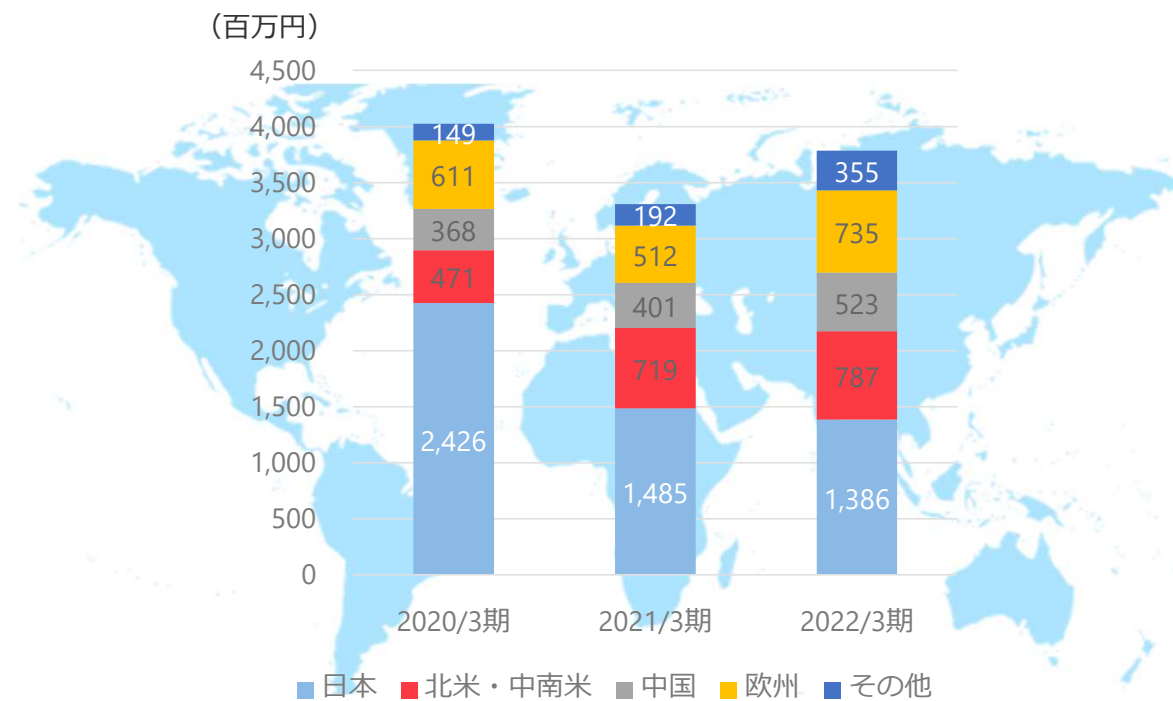


セグメント情報

■ 商品別売上高



■ 地域別売上高



貸借対照表、資金調達関連

単位:百万円	21年3月末	22年3月末
流動資産	3,884	4,260
現預金	2,652	3,005
受取手形及び売掛金	664	673
商品及び製品	257	291
その他	309	290
固定資産	1,489	1,467
有形固定資産	584	636
無形固定資産	502	395
投資その他の資産	401	435
総資産	5,373	5,728
流動負債	424	561
買掛金	163	205
1年内返済予定の長期借入金	16	—
その他	244	356
固定負債	354	441
退職金に係る負債	279	305
その他	74	136
純資産	4,595	4,725
株主資本合計	4,744	4,821
その他包括利益累計等	▲149	▲96
負債純資産合計	5,373	5,728

主な増減要因

- 現金及び預金：+352百万円
- その他の流動負債：+70百万円
- 繰延税金負債：+36百万円

自己資本比率81.8%（前期末比△3.3pt）

Leader

Topic :

JPEG-XS対応IPパケット監視装置LVB440機能強化



今回の機能強化のポイント

- IPネットワーク監視機能の向上
- 映像信号評価やアンシラリデータの解析など波形モニターとしての機能の充実



IPネットワークを伝送するコンテンツの品質をLVB440 1台で管理することが可能

【最近追加された機能】（2022年2月25日公表）

- ◆ IP監視機能
 - ・ NMOS SDPファイル取得
 - ・ RTP Frequency Offset
 - ・ PTP設定機能（ST2059）
- ◆ 映像信号評価機能
 - ・ HDR機能追加
 - ・ CIE色度図表示
 - ・ オーディオ機能充実（7.1サラウンド対応）
- ◆ データ解析機能
 - ・ 字幕表示 OP-47、CEA-608、CEA-708に対応
 - ・ SCTE-104デコード
 - ・ Sony SR Live Metadata表示
- ◆ 対応フォーマット
 - ・ JPEG-XSデコードオプション（2K/4K対応、NMOSコントロール対応）

LVB440

東京や北京で開催された国際スポーツ大会では、現地に設置したLVB440をアメリカからリモートプロダクションで使用されるなど、大規模なイベントでコンテンツ制作に貢献。機能が強化されたことにより、IP環境を運用する放送局やネットワーク事業者において、コンテンツ制作でさらに効果的なソリューションの提供が可能。

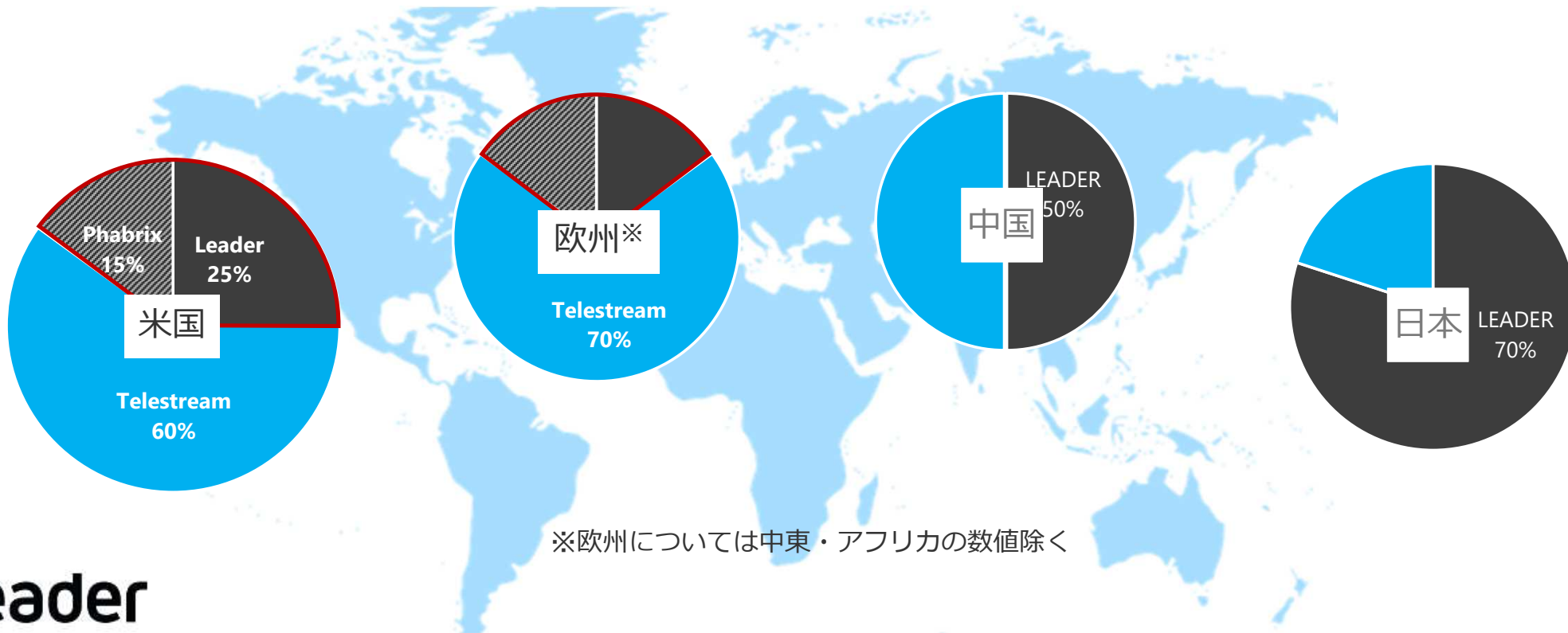
2023年3月期 通期計画



<https://www.leader.co.jp/>

競合状況と当社グローバルシェア

当社グローバルシェア2位： トップは Telestream社
 大きな環境の変化をチャンスと捉え、世界トップを狙う！



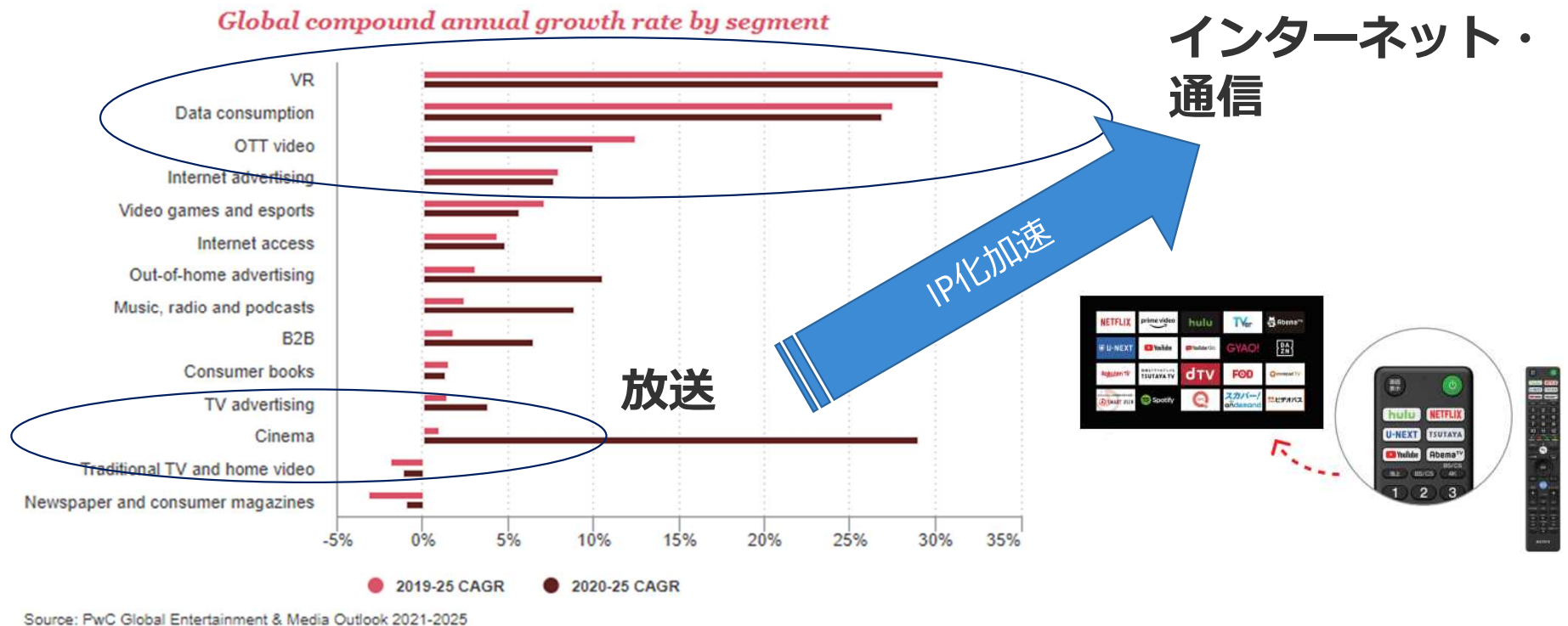
放送関連機器を取り巻く技術進化

急速に進む放送を取巻く2つの進化『IP化』『クラウド化』に向け、積極的投資を継続する



Leader COVID-19により消費者のデジタルメディア利用拡大

- デジタルやモバイルの消費者に対応した分野が急成長。世界のエンタテインメント&メディア業界の2020年–2025年のCAGRは5.0%を見込む
(出所：PWC調査レポートより)



原材料ひっ迫への対応

2022年度一杯は続く前提で、年度内に必要な部品の供給は年初に目途をつけつつ、供給途絶に対する緊急対応費として130百万円を計上する



2023年3月期通期業績計画

- 動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続
- 原材料のひっ迫は2022年度一杯続く前提で、サプライチェーンを強化

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	構成 %	2023年3月期 計画	構成 %	前年同期比 %
売上高	3,787	100%	4,750	100%	+25.4%
営業利益	70	1.9%	100	2.1%	+42.7%
経常利益	154	4.1%	110	2.3%	△28.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	116	3.1%	80	1.7%	△31.2%

株主還元

企業成長投資と株主還元のバランス重視

(配当 : 円)

